

平成23(2011)年度

私たちの村の予算

～ 村民との協働のむらづくりを目指して ～



佐井村

平成23年度は、こんな事業を進めます

1. 各地区集会施設の指定管理者制度の導入
2. 原田地区・矢越地区集会施設の改修工事
3. 子育て支援事業（乳幼児・児童医療費給付事業、子ども手当の支給）
4. 子宮頸がんワクチン予防接種
5. 天然記念物ニホンザル食害対策電気柵設置工事
6. ニホンザル保護管理専門員および、モンキードッグハンドラーの育成
7. 佐井村のCM制作および、首都圏大型ビジョンによる放映
8. 漁港整備事業（福浦漁港、牛滝漁港の整備）
9. 村雇用講師による学習支援推進事業

（平成22年度から繰越した事業）

1. 福浦川目線整備事業（用地購入・立木補償）
2. 役場庁舎改修事業（設備の更新・改修費用など）
3. 佐井地区簡易水道施設改良事業（施設老朽化にともなう解体、新設など）
4. 学校図書整備事業及び中央公民館図書整備事業
5. 村の歴史をマンガで見て知る事業

 平成22年度から繰越した事業のうち2～5については、国の補正予算である「地域活性化交付金」（きめ細かな交付金および、住民生活に光をそそぐ交付金）により、事業が行われます。

データで見る佐井村の予算

平成23年度の予算総額は、

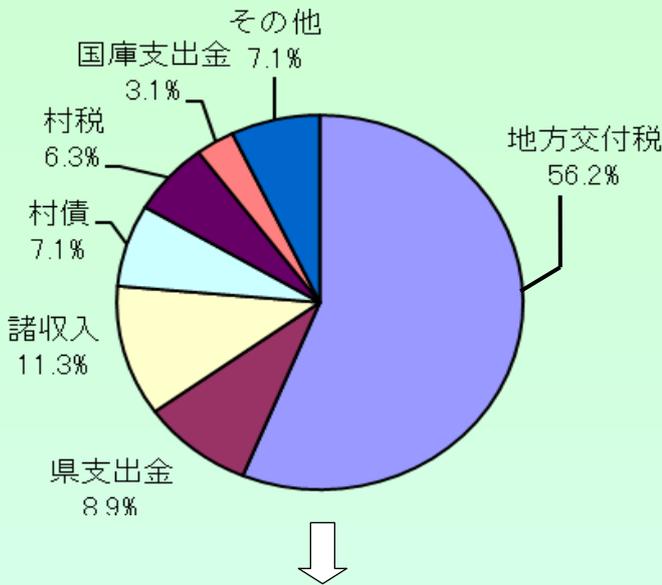
32億7,268万4千円 です。

区 分	平成23年度予算額	平成22年度予算額	増減額	
一 般 会 計	23億3,442万7千円	24億1,632万1千円	△8,189万4千円	
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	7,455万6千円	8,353万9千円	△898万3千円
	下 水 道 事 業	1億6,655万9千円	1億5,902万5千円	753万4千円
	国民健康保険事業	4億2,351万8千円	4億1,959万2千円	392万6千円
	老 人 保 健	廃 止	60万7千円	△60万7千円
	介 護 保 険	2億5,018万7千円	2億4,451万3千円	567万4千円
	後期高齢者医療	2,343万7千円	2,633万6千円	△289万9千円
合 計	32億7,268万4千円	33億4,993万3千円	△7,724万9千円	

一般会計

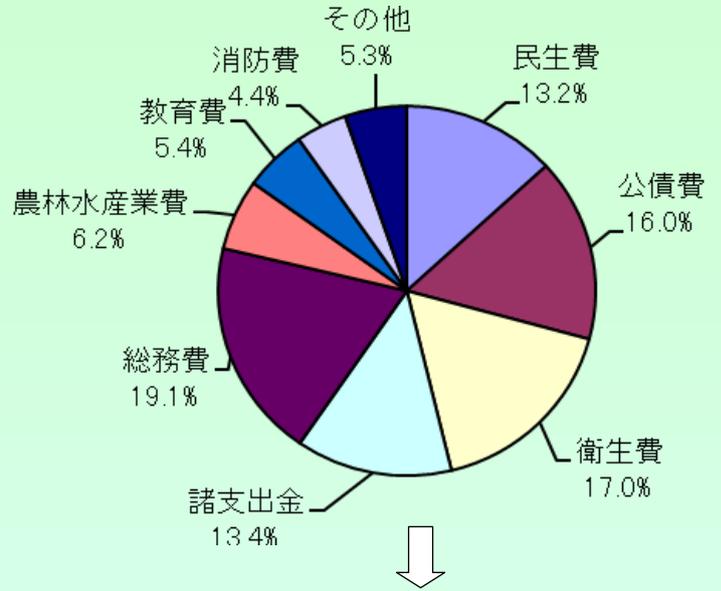
一般会計は、村の予算の中心となるもので、福祉、教育、道路、漁港の整備などのお金は、この財布から出し入れしています。

歳入(収入)



村民1人あたりが納めた税金
58,697円

歳出(支出)



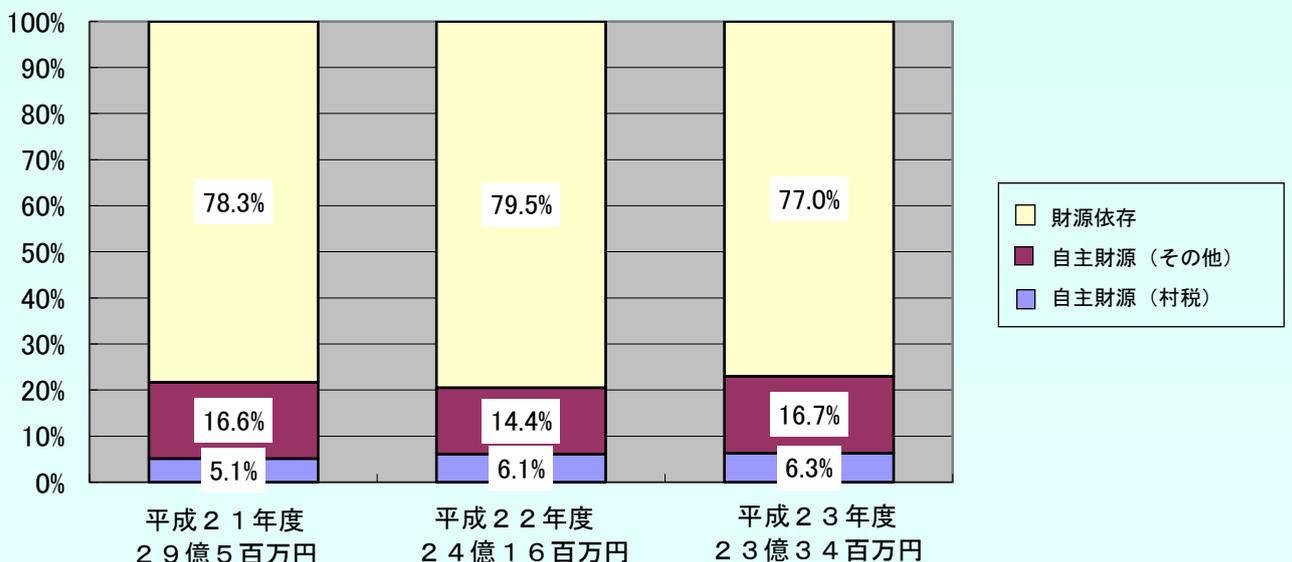
村民1人あたりに使われる予算
937,145円

※平成23年3月1日現在の住基人口(2,491人)で算出

◇自主財源と依存財源

村の歳入(=収入)のより所を財源といい、このうち税金のように村が自分で集めるものを自主財源、国や県からもらう補助金などを依存財源といいます。

自主財源の割合が高ければ、それだけ自主的、安定的に事業が進められますが、人口が減少傾向にあり、大きな企業がない当村にとっては、自主財源の確保が課題となっています。



特別会計

村には、一般会計のほかに、特別会計があります。

特別会計は、決まった仕事について、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の5つの特別会計があります。

簡易水道事業特別会計

7, 455万6千円

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理を行い、安定した飲料水の供給に努めていきます。

歳入

水道使用料等	4, 020万8千円
一般会計からの繰入金	3, 434万8千円

歳出

施設の維持管理費等	2, 543万6千円
借入金の返済（公債費）	4, 892万0千円
その他	20万0千円

業務の予定量

給水戸数 ……………	1, 191戸
年間総配水量 ……………	33万9, 165 ^{m³}
1 ^{m³} の水の給水に要した経費（給水原価）…	407. 04円
1 ^{m³} の水の供給に要した経費（供給単価）…	186. 78円



下水道事業特別会計

1億6, 655万9千円

生活雑排水などの河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、側溝や水路の改善による衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いのある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理（5施設）に努めていきます。

歳入

下水道使用料等	1, 257万9千円
一般会計からの繰入金	8, 777万9千円
借入金（村債）	6, 620万0千円
その他	1千円

歳出

施設の維持管理費等	4, 318万3千円
借入金の返済（公債費）	1億2, 297万6千円
その他	40万0千円

整備の状況

- 牛滝地区漁業集落排水処理事業
 - 平成9年供用開始 加入率 96%（H23. 2末）
- 福浦地区漁業集落排水処理事業
 - 平成13年供用開始 加入率 86%（H23. 2末）
- 長後地区漁業集落排水処理事業
 - 平成14年供用開始 加入率 57%（H23. 2末）
- 磯谷地区漁業集落排水処理事業
 - 平成17年供用開始 加入率 52%（H23. 2末）
- 佐井地区特定環境保全公共下水道事業
 - 平成21年供用開始 加入率 21%（H23. 2末）

供用開始後2年以内に下水道へ接続する方は水洗便所改造資金の利子補給を受けることができます。

※平成22年4月1日から供用開始

国民健康保険事業特別会計

4億2,351万8千円

病気やケガのときに必要な保険給付などを通して、みなさんの健康を支える制度です。

歳入

国民健康保険税	9,369万0千円
県や国からの補助	1億7,372万3千円
高額医療費共同事業交付金	5,199万2千円
前期高齢者交付金	7,000万1千円
一般会計からの繰入金	2,899万9千円
その他	511万3千円

歳出

保険給付費	2億8,120万3千円
後期高齢者支援金等	4,667万7千円
老人保健拠出金	123万0千円
介護納付金	2,100万0千円
共同事業拠出金	5,547万2千円
その他	1,793万6千円



介護保険特別会計

2億5,018万7千円

40歳以上の方が被保険者となって保険料を納め、介護が必要となったときには、介護予防サービスや介護サービスを利用できるように保険給付などを行うものです。

歳入

保険料	3,344万3千円
国や県からの補助	1億271万3千円
支払基金交付金	7,136万5千円
一般会計からの繰入金	4,131万9千円
その他	134万7千円

歳出

保険給付費	2億3,692万8千円
地域支援事業費	389万5千円
その他	936万4千円



後期高齢者医療特別会計

2,343万7千円

これまでの老人保健制度に変わるもので、高齢化が進み、今後ますます医療費が増えていく中、将来にわたり高齢者のみなさんが安心して医療を受け続けられるよう創設された制度です。

歳入

保険料	1,169万1千円
一般会計からの繰入金	1,117万5千円
その他	57万1千円

歳出

広域連合納付金	2,195万1千円
その他	148万6千円



議会費 4,025万円

(うち人件費: 3,849万円)

【平成21年度決算額】

4,100万円

- 議会だよりの発行 34万円
- 村議会議員(8人)への報酬・手当など 2,681万円
9月には夜間議会も行われています。



総務費 4億4,607万円

(うち人件費: 1億9,476万円)

【平成21年度決算額】3億9,347万円

公共施設地上デジタル対策事業 1,164万円
交通対策関連事業 346万円 など

村有財産の管理

- 各地区集会施設の指定管理委託料 1,612万円
- 原田・矢越地区集会所改修工事 2,500万円

むらづくり基本条例関連事業

- 住民提案型支援事業補助金 200万円
住民自らが創意工夫し企画・実践するむらづくり事業を実施する団体などへ、一事業につき20万円を限度として事業費の一部を助成します。

写真より

原田地区住民による墓地の整備作業

交通対策

- 生活路線維持費補助金 52万円
下北交通(株)のむつ・佐井線、磯谷線の運行経費の赤字分に対して路線維持のための補助を行います。
- 過疎地有償運送事業運営補助金 259万円
ボランティア輸送事業の運営主体である社会福祉協議会へ事業運営費の補助を行います。

原子力発電の安全性に対する理解の推進

- 管内小中学生に対する施設見学会 45万円
- 一般住民先例地視察研修 161万円



広報広聴活動の推進

- 広報「さい」の発行 111万円

コミュニティー活動の推進

- 行政連絡員・補助員への報酬 156万円
- 地区会・町内会への補助金 139万円
コミュニティー団体である地区会・町内会の各種活動に対する活動経費への助成を行います。

行政の効率化、データの収集・管理

- 総合行政情報システムの維持・管理 6,245万円
住民記録、税務、国保、介護保険等の基幹業務に係る電算処理を行います。また、住民基本台帳法改正に伴うシステム改修を行います。

地域情報通信(ICT)の活用、維持・管理

- 地域情報通信事業 865万円

昨年度全世帯に設置した、村内全域に整備した光ファイバ網を活用した告知端末機および小型画像情報端末機を本格稼働し、青森公立大学との地域協定の連携のもと、地域住民の生活の利便性の向上と地域活経済の活性化を図ります。



村税の徴収率の向上

- 納税組合に対する報償金 101万円
村税の徴収率向上のため、各納税組合の徴収額などに応じて、報償金の支払を行います。
- 納税貯蓄組合連合会運営補助金 20万円
納税に関する理解の醸成および、会の活動経費に対する補助を行います。

選挙事業

- 1,181万円
- 県知事、県議会議員、村議会議員、農業委員の選挙が予定されています。

民生費 3億 905万円
(うち人件費：4,464万円)

施設の管理運営

- 社会福祉協議会運営補助金 841万円
法人運営のための事務的な経費を補助します。
- 高齢者生活福祉センター委託 1,023万円
指定管理者制度の導入により「あすなろ」の管理運営を社会福祉協議会へ委託しています。

高齢者への福祉

- 福祉活動専門員設置事業 396万円
専門員設置に係る社会福祉協議会へ補助します。
- ほのぼのコミュニティ21推進事業 519万円
事業に係る社会福祉協議会への人件費に対する補を行います。
- 老人クラブへの補助 41万円

障がい者への福祉

- 障がい者の介護給付費 3,646万円
- 障がい者の訓練等給付費 443万円
- 重度心身障がい者への医療費給付 572万円

【平成21年度決算額】 5億8,557万円
保育所整備事業 2億9,294万円
児童手当などの支給 1,303万円 など

青少年・児童への福祉

- 児童福祉施設負担金 965万円
「はまゆり学園」への運営負担に要する費用です。
- ひとり親家庭等への医療費助成 122万円
- 子ども手当の支給 3,133万円
子ども1人につき13,000円支給されます。
- 保育所運営事業 4,494万円
指定管理者制度の導入により保育所の運営を、「吉幸会」へ委託しています。



佐井村保育所
おまつりパレード

衛生費 3億9,586万円
(うち人件費：3,567万円)

保健対策の充実

- 患者輸送事業 1,065万円
大間病院および、川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。
- 各種予防接種の実施 1,104万円
- 乳幼児健診事業 73万円



大間病院での予防接種

子育て支援対策の強化

- 乳幼児はつらつ育成事業 227万円
- 児童医療費給付事業 459万円
乳児から中学生まで、入院・通院ともに医療費が無料となります。
- 妊婦委託健診事業 153万円
- 各種健(検)診の実施 607万円

【平成21年度決算額】 4億2,186万円
各種予防接種事業 579万円
ごみ収集処理 1億 857万円 など

環境保全・環境衛生への取り組み

- 佐井村斎場の運営 596万円
佐井村斎場の維持運営を指定管理者に委託します。

○合併処理浄化槽設置整備事業 100万円

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する方に対して、予算の範囲以内で補助金を交付します。

ごみ・し尿の収集処理

- 環境保全美の推進 282万円
ごみの分別収集による指定ゴミ袋の制作、販売店への取扱委託を行います。
- ごみ収集・処理 1億1,239万円
一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する費用です。
- 不燃物処理施設の管理運営 754万円
不燃物処理施設の適正な管理を行います。
- し尿処理 3,945万円
共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。

農林水産業費 1億4,486万円

(うち人件費：1,946万円)

農業の振興

○原田中山間地域等直接支払交付金 101万円

畜産の振興

○畜産導入事業 342万円

○公共牧場管理委託 212万円

林業の振興

○森林整備地域活動支援事業 192万円

人工林の所有界の確認、区域界の刈り払いなどの作業、施業箇所までの既設の作業道の補修や歩道の新設を行います。

○有害鳥獣駆除対策 2,228万円



佐井村に導入予定のモンキードッグ

主にサルの追払いや、畑に電気柵の設置を行います。また、ニホンサル保護管理専門員及び、モンキードッグハンドラーの育成事業を行います。

【平成21年度決算額】 3億1,894万円

ここでは福浦及び牛滝漁港整備事業費の占める割合が大きなものとなっています。

水産基盤の整備

○福浦漁港の整備 3,659万円



○牛滝漁港整備負担金 3,000万円
県の事業費3億円の1割負担分です。

水産業の振興

○大型クラゲ被害対策 13万円
大型クラゲによる漁網の被害を受けた漁業者の設備投資に伴う借入金に対して利子補給を行います。

○トド被害対策 16万円
トド被害対策強化網導入の設備投資に伴う借入金に対して利子補給を行います。

○水産振興事業補助金 610万円
漁協が行う水産振興事業に対する補助を行います。

○漁民の森づくり活動推進事業 28万円

商工費 3,935万円

(うち人件費：561万円)

【平成21年度決算額】 3,577万円

福浦の歌舞伎食談義 128万円
夏まつりイベント補助 50万円 など

商工業の振興

○商工会育成補助金 199万円

主に人件費補助に要する費用です。

○夏まつりイベント補助(花火大会) 50万円

観光の振興

○観光協会への補助 219万円

主に臨時職員の人件費補助に要する費用です。

○東北新幹線全線開業効果活用事業

554万円

佐井村のCMを作成し、首都圏大型ビジョンにより放映します。平成22年12月に全線開業となった東北新幹線の効果を活用し、佐井村への集客を図ります。

○防波堤壁画事業 39万円
参加者を募集します。

○福浦の歌舞伎上演 30万円
旅行会社のバスツアーなどを活用し、村内外の多くの方が観覧できるような上演を目指します。



土木費

3, 355万円

(うち人件費：1, 274万円)

道路の管理・整備

○道路維持管理業務 100万円

村道の維持補修並びに併用林道の維持補修を行い、道路の維持管理に努めます。

【平成22年度からの繰越事業】

○村道福浦川目線整備事業 1, 399万円
今年度は主に用地購入と立木の補償を行います。

○除排雪対策 503万円

○仏ヶ浦駐車帯管理業務 51万円

急傾斜地対策

○磯谷区域急傾斜地対策事業負担金 208万円

○原田区域急傾斜地対策事業負担金 300万円
磯谷地区および、原田地区の急傾斜地対策工事を継続します。

【平成21年度決算額】 7, 432万円

村道福浦川目線整備事業 2, 220万円
仏ヶ浦港湾改修事業 563万円 など

港湾の整備

○仏ヶ浦港湾改修事業 651万円

県事業費5, 200万円の12.5%負担に要する費用です。防波堤の整備を進めます。



住宅の管理

○公共住宅地上デジタル放送対応受信施設の修繕 52万円

消防費

1億 248万円

これとは別に、電源立地地域対策交付金を活用して、消防分署職員の人件費の一部8, 550万円を負担しています。

消防への負担金

○広域事務組合常備消防へ 7, 291万円

市町村共同で行っている消防分署の費用負担です。

○広域事務組合非常備消防へ 2, 315万円

佐井村内の消防団のための費用を負担します。

消防施設の整備

○消火栓の更新 80万円

防災対策

○防災訓練 12万円



【平成21年度決算額】 1億7, 022万円

広域事務組合常備・非常備消防への負担金 8, 956万円 など



○津波ハザードマップの作成 306万円

津波による浸水が予測される区域と浸水の程度を示した地図を作成します。避難経路や避難場所など津波から身を守る情報などが掲載されます。

○土砂災害ハザードマップの作成 66万円

土砂災害警戒区域や避難場所を示した地図、土砂災害に備えての各種情報が掲載されます。

災害に備えて避難経路や、避難場所を確認しておきましょう。

教育費

1億2,515万円
(うち人件費:6,458万円)

【平成21年度決算額】 1億8,206万円
佐井小学校防風ネット補修工事 1,020万円
佐井中学校体育館改造工事 823万円 など

学校教育・学校施設の充実

- 外国語指導助手(ALT)の配置 460万円
小学校高学年および中学生の英語力向上のため、ALTを配置します。
- 学校支援推進事業 452万円
特別支援学級の介助や校外活動の支援、登下校時の安全指導などを行います。



佐井小学校4年生調理実習

- 奨学金の貸付 696万円
就学に係る経費の軽減を図るため、奨学金の貸付を行います。現在の貸付金の原資は、これまでの奨学生の返還金によって賄われています。

公民館活動の充実

- 成人式の開催 16万円

社会体育の振興

- スポーツ団体への補助 146万円
体育協会などへの補助金です。

社会教育の充実

- 赤十字の里づくり推進事業 123万円
- 放課後子どもプラン事業 138万円

放課後に小学校の空教室を活用し、地域住民の協力の下、子どもたちと一緒に勉強やスポーツなどの交流活動の行うため、放課後子ども教室を開設します。



子ども教室での活動

- 学習支援推進事業 257万円

村で講師を雇用し、算数に関してきめ細かく質の高い学習指導を通じて、児童の個性豊かな人材形成や確かな学力の定着を図るための事業です。



- 各種大会派遣費の助成 112万円
小中学生の各種大会参加派遣費へ助成を行います。

諸支出金

3億1,335万円

下北医療センター支出金

- 佐井診療所の不良債務解消 4,000万円
これまでの診療所の累積債務約2億3千万円の解消に、20年度から6年かけて取り組んでいます
- 下北医療センターへの貸付金 1億8,910万円
下北医療センターおよび、佐井地区診療所の資金繰り経費の一部の貸付に要する経費です。



乳幼児健診での歯科検診

佐井村の台所事情 ～ 県内40市町村中のテータ・ランキング(平成21年度) ～

村の台所事情をあらわす「財政指標」には、様々なものがありますが、代表的で比較的わかりやすいものを示しました。順位は県内の40市町村のうちで、佐井村がどの位置にあるかという目安を示したもので、優劣を比較するものではありません。

財政力指数 0.108 (39位/40市町村)

通常確保できると考えられる収入

標準的な仕事をするのに必要と見込まれる支出(過去3年間の平均)

村のふところぐあいを表すもので「1」を超える場合には、国からの援助(普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振るものです)がなくなります。また、数字が大きいほど余裕があることとなります。

H21年度順位	市町村名	指数	H20年度順位
1	六ヶ所村	1.713	1
2	東通村	1.144	2
3	八戸市	0.687	3
4	青森市	0.562	4
5	三沢市	0.501	6
37	新郷村	0.138	37
38	風間浦村	0.112	38
39	佐井村	0.108	39
40	西目屋村	0.101	40
平均		0.351	

H21年度順位	市町村名	指数	H20年度順位
1	六ヶ所村	5.5	1
2	野辺地町	10.0	2
3	横浜町	12.6	7
28	藤崎町	19.4	23
29	佐井村	19.7	32
30	むつ市	19.8	29
38	田舎館村	23.4	37
39	五戸町	23.5	38
40	黒石市	24.5	39
平均		17.8	

実質公債費比率 19.7 (29位/40市町村)

一般会計と特別会計などの公債費
(毎年返済しなければならない借入金の元金と利子)

経標準財政規模から普通交付税の需要額に
算入された元利償還金を差し引いた額

村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので、率の低い方が財政負担が低いこととなります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

H21年度順位	市町村名	指数	H20年度順位
1	平内町	81.3	4
2	東通村	81.5	1
3	大鰐町	81.7	3
8	南部町	86.8	6
9	佐井村	87.6	8
10	おいらせ町	88.1	19
38	むつ市	98.6	36
39	鶴田町	100.5	37
40	鱒ヶ沢町	107.5	40
平均		91.9	

経常収支比率 87.6 (9位/40市町村)

経常的経費(毎年欠かさず必要となる支出)

経常一般財源(使い道が限定されていない毎年繰り返し
入ってくるもの)+減税補てん債及び臨時財政対策債

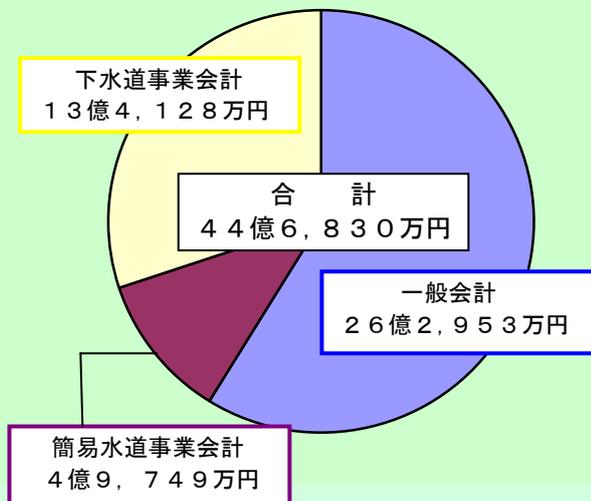
人件費や公債費、扶助費(福祉施設の入所に伴う費用など)など、毎年必要になる支出で、容易に切り詰めることが難しいものの割合のことです。指数が低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということとなります。

佐井村の借金状況は？

平成22年度末の見込みで、一般会計をはじめすべての会計を合わせて約45億円の借入れがあります。村民1人あたりでは約183万円になります。借入れの内訳は右図のとおりですが、実際は、これに利子を加えた金額を分割払い（10～30年間）で、返済していくことになります。

公共施設や下水道施設のように、建設にたくさんの費用がかかり、しかも、何十年も利用されるものは、もし借金をしないとすれば、当座の資金繰りが難しいだけでなく、建設する時代に生活している村民だけが大きな負担をすることになってしまいます。そこで、一般の住宅ローンと同じように借入れを利用し、毎年少しずつ返済していくことによって、将来にわたってその施設を利用する村民の負担を分かち合うようにしています。

借入金の内訳
(平成22年度末見込み)



貯金の状況は？

平成22年度末の見込みで、約10億9千万円の貯金がありますが、このうち大半を占めるのが水産振興基金の約6億2千万円で、この基金は原則として元金の取り崩しができないものとなっています。財源の不均衡を調整できる財政調整基金は平成16年度より年々増加しつつあります。これは地方交付税の削減が緩和されたことにもよりますが、「佐井村集中改革プラン」の着実な実行など、今までの行財政改革の取り組みが成果をあげてきている証拠です。

貯金の内訳 (平成22年度末見込み)	
貯金の種類	金額
財政調整基金	2億2,698万円
村債管理基金	1億6,458万円
水産振興基金	6億1,785万円
その他の基金	7,988万円
計	10億8,929万円

— 平成23年度予算の特徴 —

子育て支援対策として子ども手当の支給に要する経費や、昨年度に引き続き村単独の支援策として、乳幼児から中学生までの子どもの入院・通院を無料化するための経費、さらには子宮頸がんの早期予防策として、中学生などを対象とした子宮頸がんワクチンの予防接種を行う経費も盛り込まれています。有害鳥獣駆除対策として電気柵設置のほか、ニホンザル保護管理専門員やモンキードッグハンドラーの育成、追い払いに有効とされるモンキードッグの導入などに係る事業を実施します。また、各地区集会施設の管理運営について指定管理者制度を導入するなど、引き続き行財政改革を進めていきます。平成22年度中に全世帯に設置した告知端末機および、小型画像情報端末機が本格稼働することにより、村内の情報通信の格差を解消し、地域住民の生活の利便性の向上と地域経済の活性化を図ります。

以上が今年度取り組んでいく施策の主なものとなっています。しかし、村の歳入の大半を占める地方交付税が平成22年度の国勢調査による人口減少に伴い大幅な減少が見込まれるため、非常に厳しい収支の見通しとなっています。よって、今日までの取り組みに加え施策調整や事務事業の見直しにより一層の行財政改革の意識を持って、これまでに以上に財政の健全化に努めていきます。



福浦・牛滝小学校交流学習会